

### 特集 3

## 大学の中で LGBTQ+ の居場所を学生と共につくっていくこと

永井 萌子

#### はじめに

特集3では、今年度研究所が主催した4つの LGBTQ+ 関連イベントの記録をまとめた。始まりは4月、授業がどのように行われていくのかさえはっきりしていない状況下でのことだった。キャンパスに集まることもかなわない中、学生の活動も多くは止まっていた。新入生をはじめ、LGBTQ+ の学生たちの居場所はいまどこにあるのか。果たしてあるのか。この不安を共有した学内サークルくまのみ、学生団体クツシタカラのメンバーが集まり、共に活動を進めてきた。

なぜ、これまで目立って LGBTQ+ に関する活動を行なったことのない本研究所に学生たちは集まったのか。そもそもこの大学には LGBTQ+ の学生が安心して集まることのできる、時には悩みの吐き捨て場になってもいい、そんな場所がないのではないか。このキャンパスにいるどのくらいの方が LGBTQ+ がいることを前提とできているのか。

こうした疑問と向き合い、大学全体を巻き込んだ議論へと発展させるため、今年度の活動は可視化と居場所作りの両輪で進められた。可視化のためにまず、私たちの言葉で LGBTQ+ について話していくこと、そのための継続したイベント作りが目指された。他方で散らばったままの私たちを集結させてくれる居場所作りも重要な課題であった。本特集でお見せる記録は、活動を通じてつくってきた象徴としての「居場所」ともいえる。この「居場所」から、今後さらなる変化、改善を大学にもたらしていくことができればいい。

#### 内容

企画1	レインボーブックフェア&オンライン座談会 (出口真紀子)	152
企画2	同性婚法制化までの軌跡から私たちが学べること (鈴木賢)	154
企画3	日本・同性婚法制化へのみちしるべ (寺原真希子)	166
企画4	FD 講演会 LGBTQ+ がいることを前提とした授業づくり (くまのみ、クツシタカラ、鈴木茂義、出口真紀子、永井萌子)	182

本特集をはじめの前に、4つのイベント全ての企画、運営に積極的に関わってくれた2つの団体を紹介したい。本特集はこの2つの団体からの協力なくしては実現できなかった。

くまのみ (学内サークル)



2018年秋ごろ発足、2019年5月に公認サークルとなる。当事者の有志によって運営され、当事者のためのセーフティネット、居場所を提供することを目的に、ランチ会、勉強会、交流会を中心に活動をする。

〈名前の由来〉くまのみは雄性先熟でイソギンチャクと共生しています。多様な性を生きるメンバーが社会と共生していくという意味を込めました。

Twitter : @kumanomi\_sophia

メール : kumanomi.sophia@gmail.com

クツシタカラ (学生団体)



クツシタカラ

2019年6月より活動をはじめ。「学生から社会全体へ」をテーマに、LGBTQ+に関する問題意識の向上と、学生が声を上げられるプラットフォームを作ることを目的に活動中。週1回のペースで交流会、Twitter ライブなどを開催している。

〈名前の由来〉LGBTQ+やレインボーフラッグが大きくプリントされたTシャツを着ることは躊躇われても、靴下からならさりげなく始めることができます。靴下を履くという日常的で小さなことからでも始めていける、というメッセージを込めました。

Twitter : sockscolour

メール : socks.colour@gmail.com